

奈良県感染症情報

平成 27 年 第 44 週(10 月 26 日～ 11 月 1 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

■ 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	3.53	(4.03)	↗	↑	→	↑
2	RS ウイルス感染症	1.88	(1.35)	↑	↗	↑	↓
3	A群溶連菌咽頭炎	1.50	(1.06)	↑	↑	↑	→
4	咽頭結膜熱	0.50	(0.15)	↑	↑	↗	↓
4	突発性発しん	0.50	(0.41)	→	→	→	↑↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

感染性胃腸炎の患者報告が多い状況が続いています。患者の年齢層に偏りはなく、広範囲の年齢層から報告があります。例年ではこの時期からノロウイルスによる感染性胃腸炎流行が本格化します。幼稚園や学校等の集団生活の場では特に手洗い・うがいといった基本的な感染症予防を心がけてください。

RSウイルス感染症は例年より高いレベルで推移しており、北部・中部地域で増加が目立ちます。RSウイルス感染症は飛沫感染、接触感染によって感染します。症状としては軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々ですが、乳幼児、特に生後数週間～数ヶ月の子どもは重症になることがあるため注意が必要です。

インフルエンザの報告が中和保健所管内から3例ありました。早めにインフルエンザの予防接種をする事をおすすめします。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

外来患者数は、相変わらずで予防接種を除けばそれほど多くない。嘔吐下痢の感染性胃腸炎は徐々に増加しそうな雰囲気がある。保育園児でRSウイルス感染症が少なくなったが続いている。流行性耳下腺炎も保育園児で流行している。伝染性紅斑も時々みられ、保護者に感染している。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は急な気候の変化と共に急増。発熱、咳の軽度の上気道炎が主であるが、中にRS様やマイコプラズマ様のレ線像を呈する例もある。

手足口病が再ブレイクの気配。重症でなくCA16?と思われるが舌の口内炎、両手に水疱集中、という臨床像。

他に伝染性紅斑、ヘルペス口内炎が少し。

感染性胃腸炎も流行中。ノロ、ロタは陰性。

南部地区(県立五條病院小児科)

鼻汁、咳嗽の遷延する呼吸器感染症が多いが、RSウイルス陽性例もみられる。嘔吐中心の胃腸炎も増加してきている。また一部保育所でムンプスの流行がある。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 27 年 第 44 週 10 月 26 日 ~ 1 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	11	16	11	11	2	3	
インフルエンザ	3 (0.06)				3 (0.27)			
小児科定点数	34	7	10	7	7	1	2	
RSウイルス感染症	64 (1.88)	17 (2.43)	12 (1.20)	23 (3.29)	12 (1.71)			
咽頭結膜熱	17 (0.50)	1 (0.14)	9 (0.90)		7 (1.00)			
A群溶連菌咽頭炎	51 (1.50)	8 (1.14)	23 (2.30)	5 (0.71)	14 (2.00)		1 (0.50)	
感染性胃腸炎	120 (3.53)	28 (4.00)	36 (3.60)	33 (4.71)	19 (2.71)	2 (2.00)	2 (1.00)	
水痘	6 (0.18)	1 (0.14)	3 (0.30)	1 (0.14)	1 (0.14)			
手足口病	5 (0.15)		1 (0.10)	2 (0.29)	2 (0.29)			
伝染性紅斑	11 (0.32)	3 (0.43)	3 (0.30)	4 (0.57)	1 (0.14)			
突発性発しん	17 (0.50)	9 (1.29)	2 (0.20)	4 (0.57)	1 (0.14)	1 (1.00)		
百日咳	1 0	1 0						
ヘルパンギーナ	6 (0.18)	1 (0.14)	3 (0.30)	2 (0.29)				
流行性耳下腺炎	9 (0.26)	1 (0.14)	7 (0.70)		1 (0.14)			
眼科定点数	9	7	3	2	2	0	7	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	1 (0.11)						1 (1.00)	
基幹定点数	6	7	2	7	7	7	0	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核8件(奈良市2、郡山2、中和2、内吉野2)
3類感染症	
4類感染症	日本脳炎1件(奈良市1)
5類感染症	梅毒1件(郡山1)

❖ 第44週のトピックス ❖

エボラ出血熱の発生状況(厚生労働省検疫所HP)
<http://www.forth.go.jp/topics/2015/11040852.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
 旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
 (下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男												1	2								3	3985
	女																						3
RSウイルス感染症	男	4	5	13	4	2	2		1													31	376
	女	2	6	13	8	3	1															33	366
咽頭結膜熱	男		1	6	2	1																10	269
	女	1		2	1	1						1										7	231
A群溶連菌咽頭炎	男			1	1	5	1	6	6	2	1	1	2									26	1210
	女			2	2	8	3	3	5	5	1	1			1							25	1053
感染性胃腸炎	男		6	14	6	10	4	4	3	2	3	2	5	1	4							64	2913
	女		5	9	6	3	4	4	4	4	2	2	2		13							56	2711
水痘	男		1	1	1			2														5	205
	女											1										1	201
手足口病	男		1				1															2	2292
	女			1	1								1									3	1941
伝染性紅斑	男				1							1										6	168
	女		1		1	1	1	1							1							5	185
突発性発しん	男		7	1	1																	9	338
	女		4	4																		8	308
百日咳	男		1																			1	6
	女																						5
ヘルパンギーナ	男			1	1		1															3	355
	女			1	1	1					1											3	318
流行性耳下腺炎	男			1	1				2		1											5	104
	女			1	1			1				1										4	113
急性出血性結膜炎	男																						3
	女																						2
流行性角結膜炎	男																					1	61
	女																						57
細菌性髄膜炎	男																						4
	女																						5
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						2
マイコプラズマ肺炎	男																						32
	女																						27
クラミジア肺炎	男																						1
	女																						60
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						48
	女																						48

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H27 ▲ H26 □ H25 〰 過去10年平均

